

2022年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
02010202

1. 計画名称

茅野市こども読書活動推進計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4・総括評価共通) コロナの影響により、お話し会、読書参観等の中止を余儀なくされた。ファーストブック等はプレゼンターを縮小して実施した。園や学校における読書活動の継続や調べ学習は概ね順調に進めることができた。第3次計画のまとめを行い、こども読書活動推進会議で第4次計画の策定を進める。
今後の重点化施策番号	2	説明	こどもの読書活動推進にあたっては、家庭、保育園、学校、地域、図書館などの各場所の役割にあった活動と連携が重要となる。様々な場所で本と出会い、感動を覚え、読む楽しさを知り、喜びを体験できるよう、読書に親しむ場と機会の充実を図っていく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	子どもの発達段階別施策の推進(2)	おおむね順調	(R4・総括評価共通) ・コロナの感染状況に配慮しながら、ファースト及びセカンドブックプレゼント、朝の絵本の時間、朝読書の時間等発達段階に応じた読書活動を推進した。 ・次年度第3次計画の終結を迎えるため、こども読書活動推進会議においてこれまでの振り返りと第4次計画に向けての準備を始めた。	(R4・総括評価共通) ・職員が研修した絵本をどのように保育の中でいかしていくかなど、計画しながら進めていく。 ・家庭によって読み聞かせの取組方が違う。「家庭読書」の意識づけが必要。 ・子どもが自ら目的を持って読むことができるような取組が必要。	・園、学校などにおける研究・研修の充実と、研修内容の共有をする。 ・子どもが自分自身で選んだ本を友だちに紹介をするなど、一冊の本を共有していくような工夫を検討する ・ブックリストの内容を検討したり、新たに絵本から読み物へ誘うのに適した本について研修したりする。
2	活動の場ごとの施策の推進(1)	おおむね順調	(R4・総括評価共通) 4月当初に、学校や園を訪問し、朝読書や読み聞かせの実情を確認、共有した。それぞれの場での共通理解を図りながら、コロナ禍でもできること確かめながら、活動を積み重ねていくことができた。また、HPにより取組み状況を発信し、家庭読書への関心向上に努めている。	(R4・総括評価共通) ・読書教育推進事業を通して、学校図書館の利活用についての見識を深め、児童生徒の探究的な学びに繋がる支援に取り組めるよう、各校との連携をより深めていく必要がある。 ・家庭読書への関心に温度差がある。「家庭でも読んでみたい」と思えるアプローチを検討する必要がある。	・司書教諭や学校司書だけでなく、児童生徒に関わる全ての教職員の読書活動への理解を深め、将来に繋がる読書活動について研修や相談体制の充実を図る。 ・読書ボランティアや公共図書館など、多様な主体と連携し、活動の場ごとに、全てのこどもの読書の機会を確保する手立てを検討する。
3					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称 こども読書活動推進会議 開催回数 1 参加延べ人数 18	2018年に具体的な取組の施策を考えたと思うが、毎年評価するときに難しい項目がある。例えば、利用する保護者やスタッフによる絵本の読み聞かせの実施があるが、今は利用する方が少ない。	具体的な取組について、推進会議の中で意見を伺いながら第4次に向け、見直しをしていきたい。
関連市民団体等名称 開催回数 参加延べ人数		
関連市民団体等名称 開催回数 参加延べ人数		